

## 『新美南吉のこと』

今年の夏は暑い日が続いていますが、皆さんお変わりありませんか。

7月30日に半田市の新美南吉記念館を訪ねました。以前『ごん狐』について文章を描いたと思いますが、私は作家（童話）新美南吉に興味をもっています。

「ごん狐」（南吉18歳）「手袋を買いに」（南吉20歳）は特に大好きな作品です。南吉は代用教員や高等女学校で英語の教諭をした経験を基に、子どもたちが好きな動物を主人公にした作品を仕上げています。当時の人気雑誌『赤い鳥』で作品を発表しました。大変早熟な作家で、人と人、人と動物とのわかりあうことの難しさを描いています。

ちょうど7月30日は南吉の誕生日で、生誕110年を祝うイベントが色々行われていました。記念館のまわりに曼殊沙華や六地藏があり、まさに「ごん狐」の世界でした。自筆の手紙や原稿も残っており、南吉の人となりを感じることができました。半田市岩滑にあります。

南吉の代表的な俳句「たんぽぽのいく日ふまれてけふの花」

尾張津島天王祭、今年は通常開催でした。堪能していただけましたか。津島市では『領事館交流プロジェクト』もあって、名古屋にある総領事館（領事館）の皆さんをお招きし、国際交流活動を行いました。様々な国の皆さんが、日本の伝統文化を楽しんでみえました。教育委員会もTPP（津島プログラミングプロジェクト）や人権教育でお世話になっている大学の先生方をお招きし、巻藁舟の美しさ、幽玄さを見ていただきました。朝祭では、私も祭に参加し、袴を着て、還御の行列に参加しました。供奉人として天王川公園から津島神社まで歩きました。幸い、風もあり、思ったほど暑くありませんでした。稚児や囃子方の皆さんも、暑さの中、祭に参加していただきました。本当にご苦労様でした。

夏の暑い日は早く過ぎていきます。交通安全や健康に気をつけ、この夏をどうか元気に乗り切ってください。

社家町や夏の朝より締太鼓  
氷菓子朝より食べし原爆忌

令和5年8月7日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視